

江戸崎町商工会

機関名	江戸崎町商工会（商店街機能強化推進委員会） 【合併により H17 年 4 月より稲敷市商工会】		
所在地	茨城県稲敷市江戸崎甲 5 4 8 - 3		
電話番号	0 2 9 - 8 9 2 - 2 6 0 3		
地域概要	(1)管内人口 50 千人	(2)管内商店街数 6 商店街	
事業の対象となる商店街の概要	(1)商店街数 6	(2)会員数 70 商店	
	(3)空店舗率 12%	(4)大型店空き店舗数 0	
	本宿町商店会他 5 商店会		
商店街の類型	1. 超広域型商店街 2. 広域型商店街 3. 地域型商店街 4. 近隣型商店街		

【事業名と実施年度】

平成 15 年度 空き店舗対策事業 街の情報ステーション（「笑遊館」）を開設
総事業費 4,020 千円

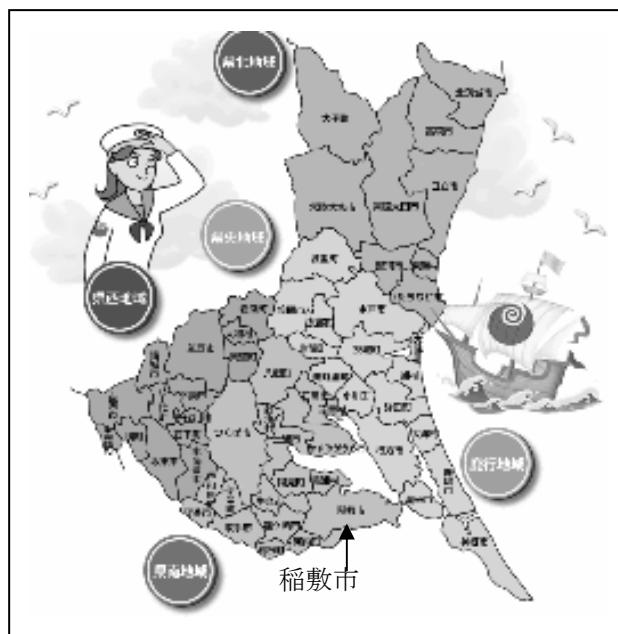
【事業実施内容】

1. 背景

江戸崎町商店街は、古く江戸時代から小野川に沿って稲敷地方の農作物の集積地として、町場が形成され、明治以降行政・文化・経済の中心地として機能し、このため稲敷地方における唯一の商業集積（商店街）拠点として発展し、近隣町村から多くの買い物客を集め繁栄してきた。

昭和 42 年には、商店街の大部分が官民一体の商店街改造事業により、歩道とアーケードの整備を行い「江戸崎方式」と称される手法で注目を浴びたが、その後車社会の発展とともに、マイカーの普及、生活様式の多様化、近隣都市への大型店の出店などにより、つくば市、成田市をはじめとする買い物客の流出が顕著に認められるようになった。

こうした商業面での都市間競争競争激化から、平成 6 年既存商店街に隣接した西江戸崎地区に、地元主導型によるショッピングセンター「パンプ」を開店、キーテナント大型店と小売店が共存し、地域生活



江戸崎町（平成 17 年 3 月稲敷市に合併）の位置（茨城県 HP より）

者の視点に立った豊かで明るい日常生活の提供に努めてきたが、最近町の南北を走る幹線道路に沿ってロードサイド型の小売店が出店し、新たな商業空間として集積をなしつつある。また近時、江戸崎中心商店街を中心とした距離半径 10km 圏内の龍ヶ崎市・新利根町・東町などに、新たなショッピングセンターや大型店が出店し、周辺地域との商圈重複のなかで競争激化が進展しつつある。

このような商業集積の競争環境のなかで、既存商店街はショッピングセンター「パンプ」及びロードサイド小売業集積などの影響を受け、近隣商圈多重化競合による著しい商業環境変化が生じ、活力を失い、休業店、廃業などの厳しい状況が生じつつある。

江戸崎町の中心市街地には、6 商店会があり中心商店街を形成してきたが、平成 17 年 3 月の町村合併市制移行後も新たな市域の中心商店街として位置づけられており、地域生活者のニーズを促え、生活者の望む店舗、業種・業態などと公共的機能追加による街区の利便性・景観など、商店街（商業集積）の方向性を見出し、新たな市街地核としての近代的で明るく楽しい文化的な中心商店街をつくりだす機能強化に関する総合的な再構築を図ることとした。



江戸崎町商店街街区

2. 事業内容

本事業では、市内で 100 年続いたが 10 年以上空き店舗となっていた旅館「鈴木屋」を活用して街の情報ステーションを開設した。

消費者のニーズに応えられるよう、商店街機能強化推進委員会を商工会に設置して、空き店舗の選定とその活用方法を議論した。



えどさき笑遊館（旧鈴木屋旅館）

(1) えどさき笑遊館（平成 16 年 7 月 12 日オープン）の概要

平成 15 年に実施した消費者アンケート調査からみられるように、江戸崎商店街には、高齢者や学生等が休憩できる場所や公衆トイレがないことによる不満があった。そこで、バスの待ち時間や空いた時間を過ごせる憩いの場を提供できるコミュニティスペースを設置することにした。えどさき笑遊館は、江戸崎商店街のやや北側に位置し、隣接地には旧商工会、2つの銀行があるので、町民が集まりやすいところであった。

店舗コンセプトは、憩いの場の提供とし、ただ単に高齢者や学生等町民が休憩できるスペースを提供するだけでなく、遊び楽しめる施設づくりを目指した。その仕掛けは以下のとおり。

①お茶の無料サービス

年間を通じ行ったサービスであり、利用者からはかなりの好評があった。アンケートからは、「冷たいお茶」「コーヒー」のサービスが欲しいという声があったが、経費がかかることもあり、自動販売機で対応した。

②商店街情報コーナー（商店街ボックス）

商店街ボックスを40ブース用意し、平成17年2月末現在30店が利用し、各商店の創意工夫のもと、商店のPRを行った(使用料：無料)。特にパンフレットや特売チラシ・ポイントサービスが来客者から好評を得た。空きブースは、学校やPTA等への貸出をしたり、プレゼント・コーナー（粗品やカレンダーなど）を設け、40ブースが埋まった。

③町・観光情報発信コーナー

町観光協会や町などの協力を得て、観光ガイドや広報誌を常備し、情報を発信した。

④パソコン設置による無料インターネット

オープン時からのインターネット利用者数は、以下のとおりである。

7月	91人	10月	116人	1月	76人
8月	132人	11月	135人	2月	70人
9月	94人	12月	99人	合計	813人

オープンから2月末日までのパソコン又は、インターネット利用述べ人数は、813人を数えた。半数以上は、学生であり、固定客となった。又、夏休み等の休日は、パソコンを利用して勉強を行う学生も見受けられた。アンケート結果により、「パソコン数を増やしてほしい、」という声に対し、8月からは、2台体制で行った。

⑤リサイクル本コーナー

町生涯学習課（中央公民館図書室）の協力を得て、9月に300冊のリサイクル本コーナーを設け、利用者に本を配布した(無料)。

⑥漫画コーナー

関係者や利用者の協力を得て、オープン時から漫画コーナーを設け、利用者に好評を得た。オープン時は、30冊程度であったが、2月末現在は、200冊を常備した。

⑦町の情報コーナー

江戸崎町の歴史に関する書籍等を置き、利用者から好評を得た。また、併せて、町の広報誌のバックナンバーや過去の商工会活動のアルバム等も置いている。

⑧その他

アンケート調査の実施や団体による会議・会合・各種教室の場として提供した。



無料休憩コーナーと情報コーナー



名物 江戸崎まんじゅう

(2) 運営方法

ボランティア委員や観光協会の協力を得て、常時、管理人として一名ないし二名を配置し、運営を行ってきた。現在（平成17年度9月現在）まで、ボランティア1名が常駐し、イベント時期などにより観光協会から1名が応援に駆けつける。

(3) 利用状況

オープン時からの来館者数は、以下のとおりである。

7月	1,879人	10月	612人	1月	425人
8月	868人	11月	1,720人	2月	477人
9月	616人	12月	439人	合計	7,036人

日別平均来館者数は、平均 32.42 人であり、イベント開催時の江戸崎祇園祭と文化祭、笑遊まつりを除く通常時の来館者数は 21.13 人/日であった。

(4) 商店街マップの作成

笑遊館のオープンに合わせ、商店街マップを作成した。商店街マップには、町観光資源の掲載などもあり、来館者に好評を得た。

(5) イベントの実施

① 江戸さき笑遊館におけるイベント

江戸さき笑遊館内で様々なイベントを開催した。江戸さき笑遊館が単なる休憩所にならないように開催し、来館者を楽しませた。

1) 江戸さき夏まつり絵画展

毎年、観光協会主催で行っている絵画展の会場を役場町民ホールから江戸さき笑遊館に移し、開催した。この絵画展は、江戸崎中学校生を対象にしているため、中学生や親などが来館し、好評を得た。

2) 江戸さき夏まつり栈敷席券発売所

平成16年から行った江戸さき夏まつり花火大会の栈敷席の販売を、観光協会主催で7月21日～8月20日の間、江戸さき笑遊館で行った。栈敷席券の購入者の大半が、町外であったため、町や商店のPRも併せてできたと思われる。

3) 江戸崎のまつり写真展

町商工会主催の「江戸崎のまつり写真展（祇園祭・花火大会）」を10月から11月の間、開催した。応募総数は、20点であり、最優秀賞・優秀賞・佳作を富士フィルム㈱の協力を得て、決定した。町のまつりをPRできたということで、成功を収めたと思われる。

4) 顔の歴史展

町福祉課の協力を得て、9月から12月まで、平成16年に米寿になった方の写真



夏まつり

をポスターにし、掲載をした。高齢者から好評を得た。

5) セピア色の写真館

町生涯学習課（中央公民館）の協力を得て、11月から62点の明治時代から昭和中期頃までの写真を掲載し、来館者から好評を得た。

6) 寄席

11月7日に笑遊まつりの中の最後のイベントとして、地元落語家鶯春亭梅八氏の寄席を行った。スペースが限られていたため、50人の見物客であったが、初めての落語を経験した中学生が多く、貴重な体験ができたと思われる。

7) 和菓子屋さんの菓子づくり教室

1月22日と2月5日に、地元商店街の和菓子店の協力を得て、「和菓子屋さんの菓子作り教室」を開催した。参加者は、両日とも定員の15名であったが、プロの味を伝授でき、参加者から好評を得た。

8) 江戸崎高校野菜直売

地元江戸崎高校農業学科の協力を得て、高校生が栽培した野菜などの直売を11月から随時開催した。地元町民や来館者には、新鮮さや低価格であったため、好評を得て、開催日には、即日完売であった。

9) ひなまつり展

2月3日から、ひな壇かざりを展示した。季節感があったため、来館者の目を楽しませた。また、初日の2月3日は、節分ということもあり、開館時間を21時まで延長し、節分参拝者にも好評を得た。3月2日と3日には、ひなまつりに合わせ、ひなあられや甘酒が振る舞われ、来館者に喜ばれた。

②笑遊まつりの開催

11月7日に同月5日から7日の間に行われた江戸崎町文化祭に合わせ「笑遊まつり」が観光協会・町・商工会の協力のもと行われた。また、警察署の協力もあり、商店街を歩行者天国にし、来場者の安全などが図られた。

笑遊まつりの内容は以下のとおりである。

1) ステージイベント

町商工会イベント事業研究会のチンドン演奏、隣接町村小学校のお囃子の演奏（桜川村阿波小学校・新利根町太田小学校）他

2) 山車の競演（観光協会主催事業）

3) 江戸崎小学校のお囃子の演奏（新調した荒宿町の山車の上で演奏）

4) 老人クラブ対抗輪投げ大会

5) 町商業協同組合ポイントカード交換会

6) 町商工会青年部によるボン菓子の無料サービス

7) 梅八落語

8) ビンゴ大会 等

特に、商店街の協力を得て行った「ビンゴ大会」は、盛大に行われ好評を得た。初めて行ったイベントであったため、改善点や課題点が多かったが、商店街イベントとして、新しい可能性が見いだせたと思われる。今回のイベントは、約3,000人の来場があった。

③笑遊手形の発行

11月7日から14日の間、笑遊まつりに合わせ町内老人クラブ1,500名を対象に「笑遊手形」を配布した。手形の内容は、11月7日の笑遊まつり来場の方に対してのおしるこサービスと参加店による割引などのサービスであった。おしるこサービスは約200名が利用、期間内の手形利用者は、100名であった。手形の利用者は低調であったが、新しい商店街ならではのサービスができたと思われる。しかし、初めての試みとあって、参加店が21店舗と低調であった。

【 効 果 】

1年間を振り返ると、商店街機能強化推進委員やボランティア委員の活気ある活動により、一応の成果を収めることができたと思う。この空き店舗を活用した事業を通して、江戸崎町の商店街に欠けていたものが補われ、あるいは地域コミュニティの場を創造することができたと思われる。

1. 商店街の認知度向上

「憩いの場」「情報」「遊び・楽しみの空間」の提供や消費者との交流イベント実施により商店街・各個店に対する親密度・安心感が高まると共に、街区として消費者に対する「もてなしの機能」の向上が図られた。

2. 商店街の組織活動強化

商店街の活性化に向けた行動（継続的な商店街活動）が習慣的になった。

3. その他

施設でのアンケート調査や来館者との会話の中から消費者・来街者の商店街に対する生の声が聞けた。

【 課 題 ・ 反 省 点 】

当初計画に比べて集客性、情報提供、コミュニティ機能面から十分に町民の支持を勝ち得たとははいかなかったといえる。各事業について、その問題点および課題を考えていく。

1. 事業費の確保

事業費は、商工会や町観光協会（平成16年度は、国と町の支援）の支援を受け運営を行っており、収益が無いに等しい状況である。今後は、支援に頼らない体制が必要と思われる。

例を上げると、物販事業・飲食事業の導入や施設の貸出などにより収益を上げるとともに、前記に記した管理体制も併せて解消していかなければならない。

2. 人的体制

えどさき笑遊館の管理体制は、ボランティア委員・町観光協会・一部の商店街役員の協力を得て行っているが、今後、継続していく上で、不確定要素が多く、構成店舗全員での体制作りが必要であると思われる。

3. インターネットサービスの有料化

現在、2台のパソコンを提供している。需要は、かなり高いと思われるので、台数を増設し、多くの方に利用していただきたいと思う。学生に利用率が高いので、夏休みや冬休みなどは、パソコンなどを利用し、勉強会などを開催することを検討する必要がある。また、無料ということもあり、一人あたりの制限時間を設けているが、長時間利用するもの少くないので、有料化を検討する必要もあると思われる。

4. 商店街ボックスの情報の更新

現在、30の商店が商店街ボックスを利用しているが、更新が少なく、新鮮な情報が利用者に提供できない状況にあると思われる。店主の積極的な参加を促し、最低でも月1回の更新が必要と思われる。

5. イベント企画の充実・PR等

各展示物は、今後も観光協会などの協力を得て、年間を通じ、また短いサイクルで展示物が飾れるように努力する等の必要がある。

【事業の実施ポイント】

地域にあった商店街として方向性を確立したうえで、どのような取り組みを計画的・継続的に実施していくのが重要であると考えます。

【関連URL】

えどさき笑遊館	http://www16.ocn.ne.jp/~syoyukan/
稲敷市商工会	http://www.inashiki.or.jp/
稲敷市	http://www.city.inashiki.lg.jp/index.html